

ひょうご

# 職親会だより

2016. 8 第37号

※ 職親会(兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会)は、精神障害者の就労を支援する事業主の会です。

## 【目次】

- 《報告 ①》平成28年度兵庫県精神保健職親会総会報告 …… P 1
- 平成27年度事業・決算報告
  - 平成28年度事業・予算計画
  - 職親会会則改定について
- 《報告 ②》講演会「働いてみよう、続けてみよう、続けてもらおう」… P 5
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター 岩佐 美樹氏
- アンケート結果報告 …… P 8

報告

1

## 平成28年度兵庫県精神保健職親会総会報告

6月29日、平成28年度の総会を開催し、27年度の事業・決算報告、28年度の事業・予算計画、職親会会則改定について承認を受けました。

### ●平成27年度事業報告

事業名	年月日	場所	内容
(1) 職親会研修会等の開催	27. 5.27(水) (役員会)	精神保健福祉センター	○第1回兵庫県精神保健職親会役員会 参加者：13名 【議事】 ・平成26年度事業報告・決算報告 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案) ・平成27年度総会・講演会について ・役員改選について ・職親会新名称について
	27. 6.30(火) (総会)	兵庫県こころのケアセンター	○平成27年度兵庫県精神保健職親会総会 ・平成26年度事業報告及び決算報告 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案) ・役員改選 ・職親会新名称について ○兵庫県精神保健職親会講演会 参加者：88名 「働き続ける」を支えよう！ ・講演「就労定着支援のネットワーク強化に向けて」 ～就労・医療・生活の面から～ NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク理事長 くすの木クリニック院長 <span style="float: right;">田川 精二氏</span>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「働きやすい職場を目指した取り組み」 ～SPIS（就労定着支援システム）を活用して～ 有限会社奥進システム代表取締役 奥脇 学 氏</li> </ul>
	28. 1 .20(水) (役員会)	精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回兵庫県精神保健職親会役員会 参加者：11名 【議事】</li> <li>・平成27年度事業報告及び平成28年度事業予定について</li> <li>・地域研修会について</li> <li>・職親会新名称について</li> </ul>
	28. 2 .16(火) (研修会)	ハーベスト医療福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○兵庫県精神保健職親会地域研修会 参加者：153名 「働きたい！」を支える ～地域、企業、支援者のちから～</li> <li>・行政報告「姫路市の精神障がい者就労支援の現状と課題について」 姫路市役所障害福祉課 藤井 宏昭 氏</li> <li>・当事者発表「働き続ける喜びを伝えたい」 NPO法人いねいぶるの就労定着の取り組み NPO法人いねいぶる 理事長 兵庫県精神保健職親会監事 宮崎 宏興 氏 姫菱テクニカ株式会社 小林 剛 氏 有限会社サポートセンターれいめい 赤藤 英樹 氏</li> <li>・講演「働きたい！」を支えるために ～JSNの体験事例から～ NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク理事長 くすの木クリニック院長 田川 精二 氏</li> </ul>
(2) 機関誌 「ひょうご 職親会 だより」 の発行	27. 9  28. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご職親会だより 第35号 2,500部 職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約450箇所に配布</li> <li>・ひょうご職親会だより 第36号 2,500部 職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約450箇所に配布</li> </ul>	
(3) 役員・会員の派遣 (他機関協力)	27. 6 . 4 (木) 27. 7 .27(土) 27. 7 .24(金)  27.10. 9 (金) 27.10.10(土) 27.11.19(木) 28. 3 . 2 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県中央労働センター</li> <li>JSN新大阪アネックス会議室</li> <li>兵庫県公館</li> <li>神戸国際展示場</li> <li>兵庫県民会館</li> <li>グリーンアリーナ神戸</li> <li>神戸市教育会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 (野村会長出席)</li> <li>○全国精神障害者就労支援事業所連合会総会 (野村会長出席)</li> <li>○平成27年度ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会及び第23回福祉のまちづくりセミナー (森本相談役出席)</li> <li>○きょうされん第38回全国大会inひょうご (後援・協賛・野村会長出席)</li> <li>○平成27年度みんなねっと近畿ブロック家族の集い (野村会長出席)</li> <li>○第9回兵庫県のじぎくスポーツ大会 (後援・寄付)</li> <li>○第3回兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 (野村会長出席)</li> </ul>

## 平成27年度 決算報告

(収入の部)

(単位：円)

区分	項目	決算額	摘要
事業収入		719,000	
	会費収入	63,000	3,000×21口
	賛助会費収入(団体)	87,000	3,000×29口
	賛助会費収入(個人)	69,000	1,000×69口
	委託費	500,000	兵庫県 500,000円
事業外収入		145	
	雑収入	145	貯金利息等
小計		719,145	
繰越金	前期繰越金	555,482	前年度から
計	(A)	1,274,627	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	決算額	摘要
事業費		312,067	
	普及啓発費	180,144	情報誌「ひょうご職親会だより」発行
	講演会費	125,003	講師謝金、旅費、会場使用料等
	研修会費	6,920	研修会参加費、旅費等
運営費		222,730	
	役員会費	18,000	旅費
	事務費	170,818	用紙等の各種消耗品、郵送費(たより、研修案内)等
	需用費	33,912	封筒印刷等
分担金	分担金	20,080	全国精神障害者就労支援事業所連合会団体会費
小計	(B)	554,877	
繰越金	次年度繰越金	719,750	次年度に繰越(A) - (B)
計		1,274,627	

当会の活動費は、会費・賛助会費、県委託費によって賄われています。

平成27年度は収入719,000円に対し、支出は554,877円でした。主な支出は講演会・研修会の開催、機関誌「職親会だより」の発行などでした。

平成28年度は、事業収入を670,000円、事業外収入を100円と見積もっています。それに平成27年度繰越金719,750円を加え、1,389,850円の予算となっています。



## 平成28年度事業計画

- 1 定期総会及び講演会の開催（平成28年6月29日）
- 2 地域研修会の開催
- 3 役員会の開催（年2回）※第1回役員会は平成28年5月18日に開催
- 4 『ひょうご職親会だより』の発行（年2回）
- 5 会員の拡充
- 6 NPO法人全国精神障害者就労支援事業所連合会への参加及び連携
- 7 各種関係機関との連携・協力

## 会則改定について

平成27年の5月27日に行われた平成27年度第1回精神保健職親会役員会にて、「兵庫県精神保健職親会」という名称変更について意見が出されました。関係者に広く知っていただき活動に賛同いただくために、その活動内容がわかりやすい名称をアンケートにより決定しました。新名称は「兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）」となり、平成28年度の総会で承認いただきました。それに伴い、会則も改定します。

変更点として

- ① 表題を「兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）」に変更
- ② 第1条（名称）を「兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）」に変更
- ③ 第16条（附則）に「この会則は平成28年6月29日から施行する」を付記

の3点を変更します。

変更により、従来より出ていた「関係者から『しょくしんかい』と呼ばれる」、「何をしているのかわかりづらい」、「『親でないと入れないのか』と聞かれる」などの課題は改善されるかと思われます。旧全国精神保健職親会も平成17年より「全国精神障害者就労支援事業所連合会」と名称変更し、活動内容がよりわかりやすくなり、運営もしやすくなったと聞いています。

本会も、よりよい活動を目指し、一同努力を続けて参ります。皆様のさらなるご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。





# 講演会「働いてみよう、続けてみよう、続けてもらおう」

総会後の講演では、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センターの岩佐 美樹氏を講師にお招きしました。精神障害者の就労定着支援ついて、認知機能障害という視点からその特徴や対応方法についてご講演いただきました。

## 「こうすればできる、仕事が続けられる」

～精神障害のある方が働き続けるために、周囲ができること～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター **岩佐 美樹 氏**



### 知覚機能

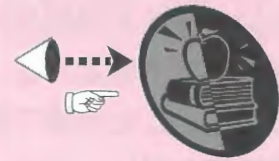
◎五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）を司る感覚受容器によって外界の情報を受け取り、解釈する機能のこと

🍎例：リンゴ…

赤い （視覚）

ツルツル（触覚）

甘い （味覚）



### ～知覚機能とは～

精神障害の方が調子を崩すと、見間違いや聞き違いが増える。病状の悪化と共に知覚機能がうまく回らなくなるからと考えられる。

### ～注意機能とは～

発達障害の方は不要な刺激を抑制する力が弱く同じ感度で拾ってしまう、注意欠陥多動性障害の方は刺激に関する感度が良すぎる、といった特徴がある。

### 注意機能

**注意の広義の定義** (R. Strub, Y. W. Black 1985)

「外部からの環境刺激に煩わされることがなく、特異的な刺激に注意を向け続ける能力」

**注意機能の分類** (Geschwind 1982)

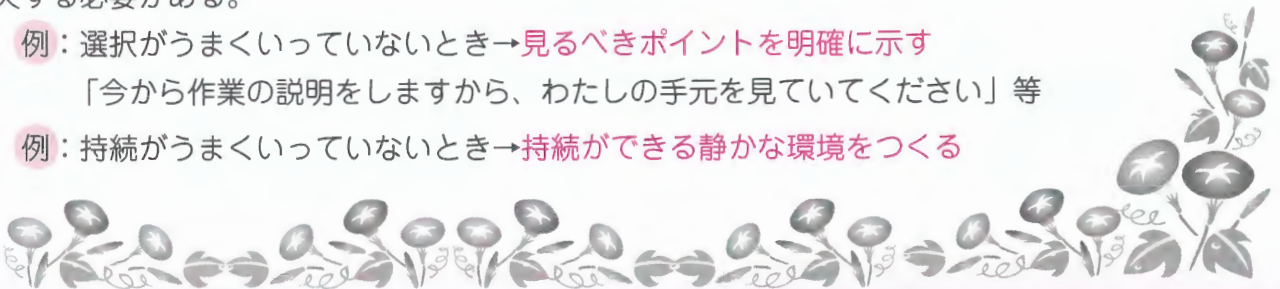
- ①選択性：必要な刺激に注意を向ける
- ②持続性：選択した刺激に向けた注意を一定時間持続する
- ③転導性：必要に応じてより重要な刺激に向けて注意を移す
- ④多方向性：複数の刺激に同時に注意を払う
- ⑤感 度：注意そのものの感度

注意のどの部分がうまく回っていないのかを見極め、それに応じて環境調整や指示の出し方を工夫する必要がある。

例：選択がうまくいけないとき→見るべきポイントを明確に示す

「今から作業の説明をしますから、わたしの手元を見ていてください」等

例：持続がうまくいけないとき→持続ができる静かな環境をつくる



## ～記憶について～

長期記憶には、意味記憶、エピソード記憶、手続き記憶があり、このなかで一番障害されにくいのが「手続き記憶」。

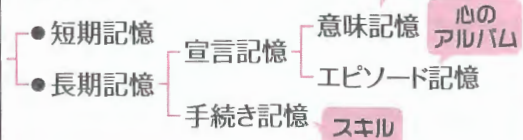
手続き記憶を就労支援に活用することが可能。

例：毎日職場で行うことを手順書にし、それを繰り返させて体で覚えてもらう。簡単な作業内容であれば短時間就労が可能。

## 記憶機能

★過程～記録・保持・再生

★種類



※情報処理の過程で使われる短期記憶→作業記憶 (working memory)

## ～作業記憶について～

作業台が狭いと、情報を一度にたくさん置くことができない。作業台の形がいびつだったり、片付いていないと置ける情報が制限される。作業台が不安定だと、ちょっとした刺激で動揺し、情報をうまく受け取れない。

## 作業記憶とは……脳の作業台



- 作業台が狭い、形がいびつ
  - ☞一度にたくさんの情報がおけない
- 作業台が傾いている
  - ☞情報がぼろぼろこぼれていってしまう
- 作業台の上が片付けられていない
  - ☞必要な情報が必要な時に取り出せない
- 作業台が不安定な場所に置かれている
  - ☞ちょっとした動揺で情報が散乱してしまう

記憶機能障害への対応としては、情報は単純かつ手短かに伝える、メモやスケジュール帳を活用する、行動の繰り返しにより習慣化をはかる等の配慮が必要。

## ～なぜ精神障害者等に職業前訓練が必要か～

### 理由その1

就職するために必要な「知識」や **スキル** が未習得（未学習）だから。知識と **経験** があってスキルは始めて身につく。最初からスキルがあることを期待するのではなく身につけられる環境を整えていくことが大切。

### 理由その2

**自己理解** や **障害受容** ができていないという背景を理解することが必要。人は **経験** を積むことで適切な進路選択ができる。



◆就職するために必要な知識や  が未習得(未学習)であるから。

知識と <input type="text"/>	が	あって身につくもの
✓リビング <input type="text"/>	→	生活訓練
✓ソーシャル <input type="text"/>	}	職業前訓練
✓ワーキング <input type="text"/>		

◆適切な進路選択ができていないから

背景として……

**自己**  ・ **障害**  の不十分さは、人は  を積む中で、**理想と現実**の折り合いをつけ、適切な進路選択を行えるようになる。

自己理解は、失敗を認めたくえでちょっとやり方を変えて成功してもらい、成功体験を積むことによって促進される。また、障害受容は100%である必要はなく、就職するための障害受容、5年目の障害受容といったものでよい。行きつ戻りつしながら進んでいくことを支えることが大切。

### ～なぜ職業後も支援が必要なのか？～

感情表出（EE）研究で、家族の接し方（感情表出の仕方）によって再発率が変わるという調査結果がある。これは家族に対してだけ言えることではなく障害者にかかわる周囲すべてに言えることである。職場は適切な言葉かけや適切な距離感で接することが大切。

### ～職場定着がうまく進んでいる事業所の特徴～

いくつかの事例を紹介していただきましたのでまとめてみました。

事業所さんからよく「障害者に任せられる仕事がない」と聞くと、実際は事業所さんの側に障害者の方をしっかりと見極められていない場合が多い。障害者だからではなく、その人に何が出来るかということもしっかりアセスメントしているかどうか。個人をしっかりと見てその強みを活かせる方法を考える。それから病気や障害に対する配慮をしていくという視点が大切。

また些細なコミュニケーションも大切。前向きな言葉（ありがとう、助かった等）を積極的に使うこと、そんな小さなことを積み重ねて、希望に向かってキャリアアップを支援していけたらと思う。

障害者を雇用してから定着率が上がったという職場はいずれも、誰かの困りごとを個人の問題ではなく職場全体の問題としてとらえている。つまり、障害者の職場定着がうまく行っている職場は誰もが働きやすい職場であるとも言える。これが障害者雇用のメリットであるということをもっとデータを出してお示ししていきたいと考えている。

### ～最後に・・・希望を語ろう～

フランスの詩人の言葉「教えるとは希望を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」。職リハにおいても希望を語れるようになることが大事。今はすぐ就職できなくてもこういうふうにやっていけば就職できるのではないかと、今より楽しい生活ができるんじゃないかと、そういう希望が語れるようにしていかなければと思う。

来てくれた人が来たときより希望を持って帰っていただけるような支援をするのが私たちの仕事。障害者にとって最大のリハビリは働くことではないかと思う。誰かに必要とされて働くこと、誰かに感謝されて働くこと、そのために長期間の訓練が必要な方もいる。労働サイドの実習制度は期間が短くネックになっているが、職親さんの取り組みは訓練期間も長期間であり素晴らしい制度だと感じている。今後もひとりでも多くの障害者の方に就労のチャンスがあることを願っている。



## 講演会 アンケート結果

### 【参加者所属】

参加者：95人 回答者：58人 ※（ ）内は%

項目	協力事業所	企業	福祉施設	家族会	行政	医療機関	その他	合計
人数	0(0)	4(6.9)	21(36.3)	2(3.4)	7(12.0)	9(15.5)	15(25.9)	58(100)

### 【講演内容について】

参加者：95人 回答者：58人 ※（ ）内は%

項目	大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	よく分からなかった	無回答	合計
人数	36(62.2)	17(29.3)	2(3.4)	0(0)	3(5.1)	58(100)

### 【自由記載】

※（ ）内は所属

- ▶ 定着の高い職場では障害者に特化するのではなく、全体の問題として取り扱うことで安心して働くことができると感じた（企業）
- ▶ 当事者。体調や精神状態を考えた仕事をさせてもらっている。講演内容が自然と行われている職場だったのだと感じた（企業）
- ▶ 「（相談に）来た方が希望を持って帰ってもらえる支援をする」ことを今後に生かしたい（福祉施設）
- ▶ 障害を認知機能障害としてとらえたのが新鮮だった。自己理解と障害受容は完全にできる人はいないということ思い出させていただいた（福祉施設）
- ▶ 身体障害の計画相談を実施している。もっと寄り添ってみようと思った。アプローチしていきたいと力がわいた。やってみたい気持ちになった（福祉施設）
- ▶ 利用者からスタッフへの雇用を行っている。今後職場環境の改善について考えるきっかけになった。事例紹介は参考になった。今後、他の事業所の活動を知る機会があれば嬉しい（福祉施設）
- ▶ 障害理解を職員が仕事をする立場で理解していくことが大事だと思った。本人の支援を考えていく上でとても参考になった（福祉施設）

※その他、非常にたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

#### ☆兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）会員及び賛助会員 募集中

会 員（社適事業所に限る） 年会費 3,000円

賛助会員（団 体） 年会費 3,000円

賛助会員（個 人） 年会費 1,000円 を募集しております。

☆職親会では『手伝ってください！職場への第一歩』《手引き書（A4冊子）版・リーフレット版》を作っています。就労支援で困った時や啓発にご活用ください。

【事務局】 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2（兵庫県精神保健福祉センター内）  
兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）

**Tel 078-252-4980 / Fax 078-252-4981**

お問い合わせや、ご賛同いただける場合は、事務局までご連絡下さい。

